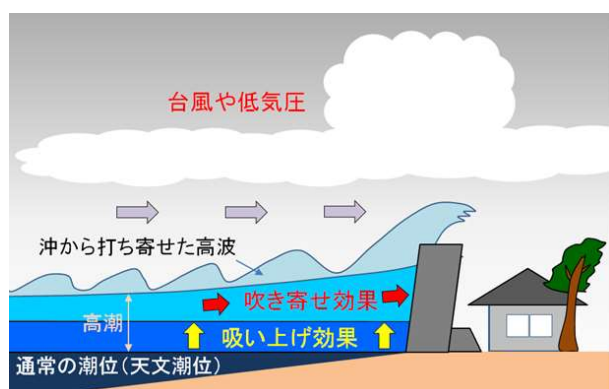




防災対策情報便

令和6年5月号

01 高潮ってなに？



出典：気象庁ホームページ

高潮は、台風や発達した低気圧などが通過するときに発生します。

通常海面は気圧によって押さえつけられていますが、台風などにより気圧が下がることで、押さえつけられている力が弱くなり海面が上昇します。(吸い上げ効果)

そこに強風のため海水が海岸に吹き寄せられることによって、海水が防潮堤を乗り越えて被害をもたらします。(吹き寄せ効果)

海水が防潮堤を超えると一気に浸水するので、そうなる前に避難しましょう。

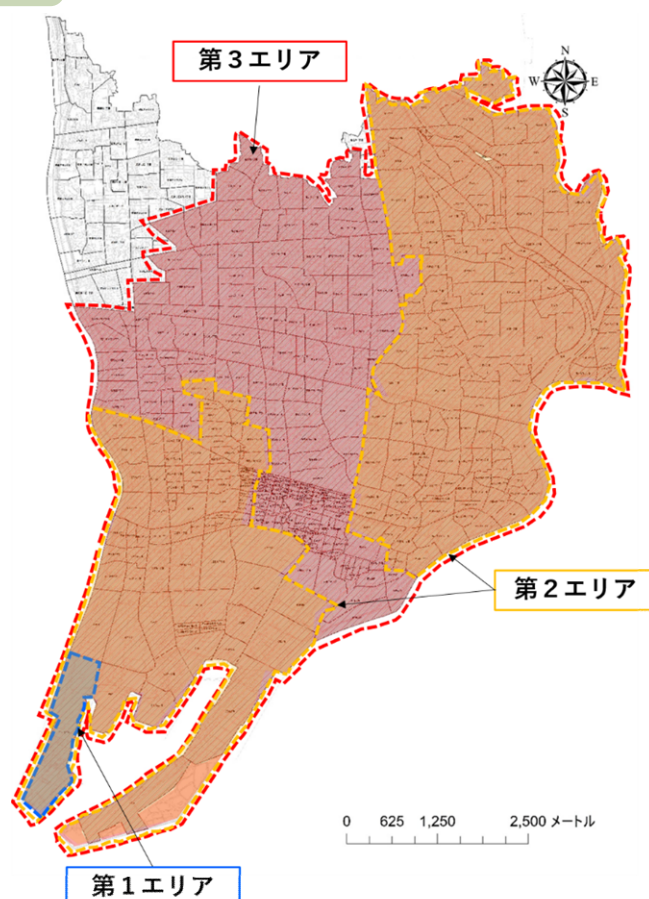
高潮時の避難情報について

高潮の発生により市域に浸水する可能性がある場合、『警戒レベル3（高齢者等避難）』や『警戒レベル4（避難指示）』といった避難情報を右図の3つのエリアに分けて発令します。

しかし、市内全域にわたって被害が発生する可能性のある災害発生の危険度が最も高い『警戒レベル5（緊急安全確保）』の発令基準に該当する状況が確認された場合は、発令エリアを分けることなく、高潮浸水想定区域全域に発令を行います。



◀◀◀ 高潮についてはこちら



高潮について学ぼう！

尼崎市では、災害から生命を守るための啓発に取り組んでいます。

昨年度には、「高潮からいのちを守るために」という動画を市の公式YouTubeにアップしました。

動画以外にも市政出前講座などでも高潮について解説を行っておりますので、併せてご利用ください。

ハザードマップやマイ避難カード等を用いて、日頃から高潮をはじめ各種災害に備えておきましょう！



この動画では、高潮について知って頂くため、

- ①高潮の現象について
- ②高潮のもたらす被害について
- ③避難方法について

を分かりやすく解説しています。

動画はこちら▶

<https://www.youtube.com/watch?v=eYAq9qDtkVs&t=6s>



02 津波ってなに？

津波とは、海底から海面までの海水全体が動くエネルギーの大きな波です。

津波は普通の波とは違い、50cmほどの高さでも木やコンクリート、鉄筋などを押し流すほど大きなエネルギーを伴っているため非常に危険です。

平成26年に発表された兵庫県南海トラフ巨大地震・津波被害想定の中で、尼崎市は最高津波水位4メートル、津波の最短到達時間は117分と想定されています。

「大津波警報」、「津波警報」が発表された場合、すぐに海や河川からできるだけ遠いところに避難してください。遠いところに避難する時間がないときは、津波等一時避難場所や、近隣の安全な3階以上の堅牢な建物へ避難してください。

津波についてはこちら▶▶▶



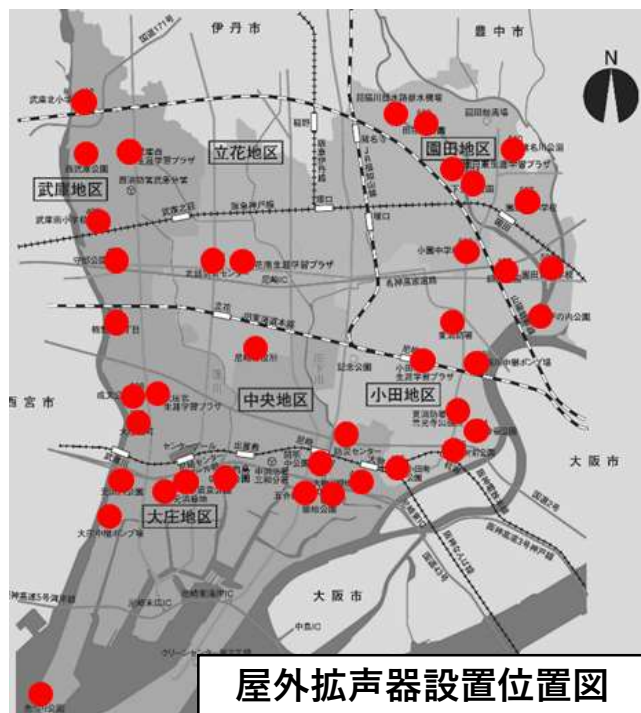
03 屋外拡声器を設置しています！

尼崎市では、河川沿いや臨海部を中心に、40基の屋外拡声器（スピーカー）を設置しています。

災害などが発生した場合や発生の恐れがある場合は、屋外拡声器を使って、いち早く市民の皆様には正確な防災情報お届けします。



屋外拡声器



屋外拡声器設置位置図

屋外拡声器の音が聞こえないときは？

河川沿いや臨海部以外では、屋外拡声器からの放送が聞き取りにくい場合があります。

尼崎市では、災害時により多くの方へ情報を伝えることができるように、様々な媒体で情報発信を行っています。



事前に確認して、災害時に落ち着いて情報を入手できるようにしておきましょう！

〈発信媒体の例〉

- ・携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）
- ・テレビ
- ・市ホームページ
- ・SNS
- ・尼崎市防災ネット
- ・災害情報電話サービス（050-5536-6953）
- ・広報車

災害情報の入手について
詳しくはこちら ▶▶▶



04 出水期に向けての取り組み

梅雨や台風シーズンなどの出水期に向けて、水防工法訓練と災害対策班長会議を行いました。

水防工法訓練

水防工法訓練は、水害に迅速かつ的確に対応できるよう公益社団法人全国防災協会から講師を招き実施しています。

5月16日（木）、猪名川防災活動拠点において、計23人の職員が参加し、土のう積み工法を行いました。



災害対策班長会議

出水期を迎えるにあたって、本市における防災態勢についての確認、意識の統一、緊密な連絡体制等を図るため、5月27日（月）に災害対策班長会議を開催しました。

また、災害対策班長会議は、これまで水防班長会議という名称で行っていましたが、災害対応は水害に限らず多岐に渡ることから、今回より災害対応班長会議に名称を変更しています。

会議では、今年度の防災態勢の編成、昨年度の対応の振り返りのほか、各種情報の共有を行いました。



05 映画の舞台にもなった尼ロック！

尼崎市にある尼崎閘門（あまがさきこうもん）が映画の舞台になりました！

尼崎閘門は、英語で閘門をLockGate（ロックゲート）ということから、「尼ロック」の愛称で親しまれており、レオナルド・ダ・ヴィンチが考案したとされる「両開き式」が日本で初めて採用された閘門です。



パナマ運河と
同じ方式の閘門！



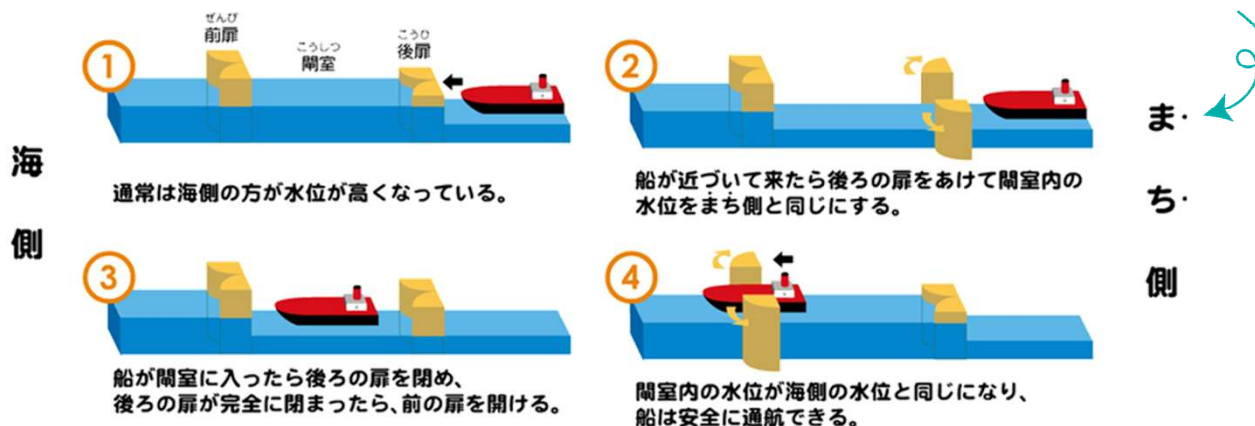
尼ロックの役割は？

■ 海拔0m地帯に海水が流れるのを防いでいる！

尼崎は海面（満潮位）より低く、昔から高潮などの水害に悩まされてきました。もし尼ロックや防潮堤がなければ海拔0m地帯に海水が流れ込んでしまいます。また、高潮などで防潮堤の外側（海側）の水位が高くなった時にも扉を閉じ、内側の水位が上がることを防いでいます。

■ 船舶が通航できるよう水位を調整している！

2つの水門を開閉することで、海と運河で高さの違う水位を調節して船舶を通航できるようにしています。通航している船舶の数は、なんと年間約6,000隻！



出典：尼ロック防災展示室ガイド